

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午前】
部 会 名	小学校 総則部会

1 提案テーマ 『児童の学習意欲の向上と基礎基本の定着を目指して
～「ホームワークアップ週間」と朝学習「えななみタイム」のとりくみ～』

2 学年 全学年

3 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

③学習意欲の向上や家庭と連携した学習習慣の確立を図る教育課程の編成の工夫・改善

4 学習指導要領との関連（内容項目）

第1章 総則 第1 教育課程編成の一般方針

- 1 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、児童の発達段階を考慮して、児童の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない。

5 実践に向けての課題意識

本校は、各学年単学級の小規模校である。児童は素直でやさしく、規範意識も高い。授業にもまじめに取り組んでいる。しかし自ら積極的に学習に取り組もうという姿勢が弱く、家庭学習習慣も不十分な所が見られ、基礎基本の定着も十分に図られていなかった。そこで、家庭学習の習慣化を図るために「ホームワークアップ週間」を月1回設定し、主体的な学習態度の育成と基礎基本の定着を目指すこととした。また、学校研究で算数に取り組んでいる関係から、週2日の朝学習に算数の操作活動を取り入れたところ、学習意欲の向上に繋がる様子も見られるようになった。そこで、現在は更なる内容の充実を図っている。

6 実践の概要

*学力定着に向けた家庭学習習慣確立のための「ホームワークアップ週間」のとりくみ

毎月1週間を「ホームワークアップ週間」とし、学年数×10分を目標に家庭学習を実施している。週間中は記録をとり、児童・担任・保護者の三者で内容を確認している。取組3年目となった昨年度、保護者アンケートを行い、保護者の意識と実態の把握を行った。

*意欲を高める朝学習「えななみタイム」のとりくみ

毎週火・木曜日の朝の10分間、パターンプロックやタングラム、ジャマイカ等の教具を利用するハンズオン・マス（体験的活動を通した算数の学習）を取り入れた学習に全校・全職員で取り組んでいる。

7 成果と課題

「ホームワークアップ週間」

成果：3年間の取組により児童にも定着している。また、保護者の理解も得ることができている。

課題：家庭学習の必要性について児童・保護者の意識をさらに高めるにはどうしたらよいか。日常的な家庭学習時間の拡充。宿題以外の主体的な学習

朝学習「えななみタイム」

成果：児童が活動を楽しみにするようになり、学習意欲の向上に繋がっている。また、数や図形の基本的な概念の形成や基礎的な計算力の定着化、子どもたちが多様な考え方をもつことにも繋がってきている。この他、物づくりの楽しさや発表する力など、教科を超えた効果も見えてきている。

課題：操作活動の内容の充実と実践の共有化

8 予想される協議の柱

*家庭学習習慣確立の取組について *学校として取り組んでいる朝学習、帯時間について